

英語スピーチ全国V

東海市の東海商業高校三年のコスタ・イザベラ・深川さん(20)＝名古屋港区＝が全国商業高校英語スピーチコンテストのレシテーション(暗唱)部門で優勝した。小さいころ日本語が分からず、悩んだという日系ブラジル四世の深川さんは「将来は英語を生かし、言葉の壁に苦しむ人々の手助けがしたい」と話す。

(長谷部正)

暗唱部門 東海商高の深川さん

暗唱部門は、英語を口で唱える。発音の正確さや、映画や聖書などとする国に滞在した表現力など五つの基準で、書などで英語に親しんだ期間が半年未満であること、審査し順位を決める。きた。高校一年で出たス」とが条件。大会前に示さ。深川さんは小学生のスピーチコンテストの県大れる五つの課題文から一ろ、米国のミュージカル 会は六位、二年生は二位つを選び、約三分間で暗 映画に魅せられたのがきと着実に成長してきた。



全国商業高校英語スピーチコンテストで優勝した深川さん＝東海市の東海商高で

今回、深川さんは「アクティブ・リスニング(積極的傾聴)」と題した課題文を選択した。家族や友人らに暗唱を聞いてもらい、正しい発音や適切な抑揚の習得に励んだ。昨年十月の県大会で優勝し、四十七都道府県の代表による全国大会(一月八日、東京都新宿区)に出場した。

本番は緊張で頭痛などが、終われば家に帰って眠れる」と自らに言い聞かせて予選を突破。決勝では「重圧をコントロールするのではなく、乗り越えよう」と開き直り、実力を存分に発揮した。

日本生まれの日本育ちながら、両親との会話はポルトガル語のため、幼少期は日本語が不得手で不安な日々を過ごしたという。「私と同じような境遇の人々の力になれるように、これからも語学の勉強に励みたい」と誓う。